



立命館大学父母教育後援会だより 2017年度 夏号

2017年夏8月発行 立命館大学父母教育後援会

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 Tel.075-813-8261 Fax.075-813-8262

立命館大学のホームページからは…
「保護者の方」をクリック

■会員の住所変更について

本誌は、学生が学部に届け出ている保証人住所宛に送付しています。保証人住所を変更される場合は学生本人による手続きが必要です。

学びステーションまで学生証を持参の上、手続きするようお子さまにお伝えください。

※最近、立命館や関係団等の名刺を利用した悪質なビジネス等が横行しております。父母教育後援会は、会員の照会を学生には一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。

父母教育後援会ホームページのご案内

<http://www.ritsumei-fubo.com>



巻頭特集

立命生の食レポート2017

2017年度
夏号

立命館大学
父母教育後援会だより

Parents Association of Student Education Assistance Newsletter



卷頭特集

P3.....

立命生の 食レポート2017

- P9... 保健センターの
保険診療費補助がスタート
- P10... 知への扉
～vol.5 生命科学部 久保 幹教授～
- P12... ゼミナール訪問
- P16... 部活動&サークル Watching

- P18... 卒業生からの手紙<二通目>
- P19... 秋のオープンカレッジ 学園祭ご招待
- P20... アカデミックウォッチング開催
- P22... 京都水紀行②
- P23... お知らせ

News

衣笠キャンパスに 新しい広場が誕生

2017年4月、衣笠キャンパスの中心地に、緑の人工芝生が一面に広がる＜東側広場＞が誕生しました。この広場は旧図書館があった場所に位置し、2016年4月に平井嘉一郎記念図書館が正門横に開館したことに伴い、その跡地が整備されて生まれ変わったものです。広場の入口には、この場所に図書館があったことを記念するモニュメントも建てられています。

日常的に学生・教職員が活用できる広場として位置づけられ、ベンチなども設置されています。昼休みに昼食を食べたり、授業の合間に友人と交流したり、天気の良い日には寝転がって本を読む学生の姿も見られるなど、早く多くの学生たちが「使いたい、行きたいと思える屋外の居場所」となっています。学園祭や式典などの行事の時にも、学生によって活用されることでしょう。



立命生の 食レポート2017

学生たちは、どこでどんなものを食べているのか?
保護者として気になる彼らの食事情をキャンパスごとにレポート。秋に向けて夏の疲れを引きずらないために気をつけたい食生活についても、スポーツ健康科学部の海老教授にお話を伺いました。





広々とした諒友館食堂

西側広場にある食堂で、主に基本棟が近い文学部・国際関係学部の学生に利用されています。利用者の人数が多く、地下には＜カフェ・ロッソ＞も併設。クレープやパフェなどのデザートに加え、パスタやパニーニなどの軽食メニューもあり、女子学生に人気です。



好きなもの好きなだけ

諒友館食堂で人気なのがセルフバー。好きな惣菜を好きなだけ皿を取り、全メニュー同額の量り売りで楽しめるユニークなシステム。「メニューも多くて飽きないし、少しずつ色々なものを食べられるのでよく利用します」と、特に女子学生が多く利用しています。

ランチを拝見！

お昼休みの食堂は混雑するので自宅からおにぎりを持参したり、お弁当を買うことが多いという中村さん。「今日は前から気になっていた京北マルシェのお弁当に初挑戦。おばあちゃんの手作りの味がして、煮物もすごく美味しいですね」。



中村 麻梨乃さん
産業社会学部2回生

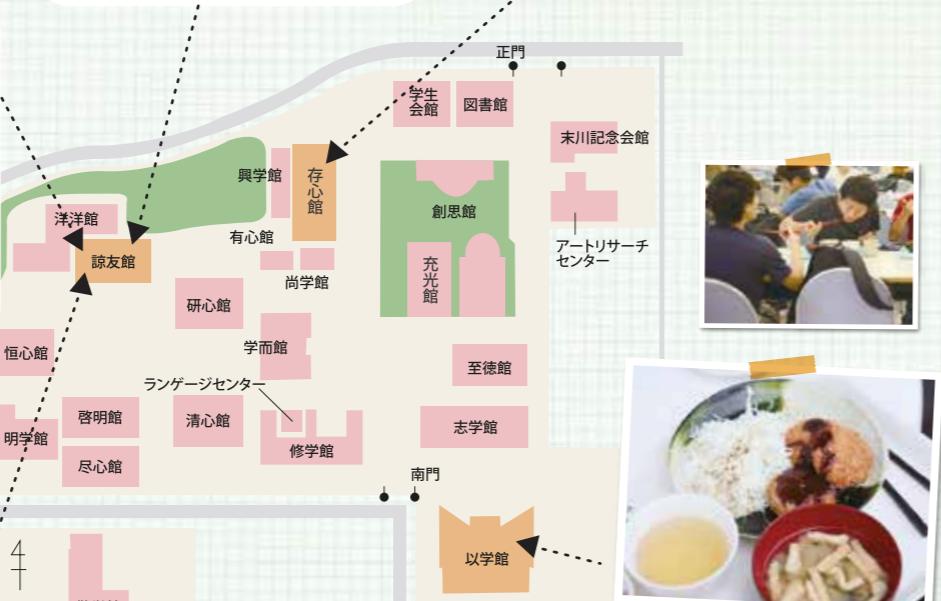


母の味を思い出すお弁当

ミールショップ（コンビニ）のほか、お弁当がテイクアウトできるくできた亭もお昼時には行列ができるます。500円でお釣りがくるうえ、「お母さんの味を思い出す」と、手作りされた惣菜に愛用者も多数。

存心館食堂

法学部の基本棟である存心館の地下にある食堂です。21時30分までと食堂の中で一番遅くまで営業しているので、夕食を食べる学生も。



朝も便利な 以学館食堂 E-Platz

産業社会学部の基本棟である以学館の地下にある食堂。朝8時から営業と、他の食堂より早く開店しているので、100円朝食や、午前中の早い時間帯からも学生たちが利用しています。

京北の野菜をたっぷりと

京都市北部の京北町は自然豊かで野菜なども美味しいエリア。産業社会学部のゼミが、地域の人々と活動していることを機に、今春から販売センターでお弁当やおにぎり、野菜スープなどを提供。「京野菜の美味しさを学生時代に味わって欲しい」と、手作りされたお弁当には野菜がたっぷり入って500円と評判。



図書館跡にできた東側広場の前で店をオープン。広場でも気持ち良さうに学生たちがお弁当を広げる。



中央に位置する最大食堂

キャンパスの中央に位置するユニオンスクエアには、＜ユニオンカフェテリア＞と2階には＜ユニオンフードコート＞があり、立命館の食堂の中で最大規模を誇ります。2階の屋外には開放的なテラス席もあり、学生たちは授業の合間にリラックスタイムを満喫しています。＜ユニオンカフェテリア＞は21時半まで営業しているので、夕食に利用する学生も多いそう。



地元の野菜で栄養満点

セントラルアークには、滋賀県のJAおうみ富士が提供するくいでキッチンがあります。地元で栽培された新鮮な野菜をたっぷり使ったメニューが特徴で、野菜不足を気にする学生からも好評。100円朝食も提供しており、季節の野菜の旨味が詰まったカレーや丼が人気です。



研究の合間にひと休み

＜リンクカフェテリア＞はリンクスクエア1階にある食堂で、研究室が隣接しているため理系の学生が多く利用します。＜ユニオンカフェテリア＞と違うメニューが提供されているのも特徴で、昼食時以外にも、研究の合間にねってひと息つく学生でぎわっています。



夜は別メニューも登場

スポーツ健康コモンズのそばにあるのがCキューブ。全品注文を受けてから調理をするオーダーメイド式で、パスタやオムライスなどの洋食メニューが充実しています。昼のピークが過ぎた13時以降からオーダーできるメニューなど、夜用メニューなどもあり、バラエティ豊かなのが魅力です。



酒井 紫帆さん
理工学部3回生



ランチを拝見！

食堂だけでなく、お弁当もよく購入すると言う酒井さん。「自分の学部棟に近い食堂以外はあまり利用したことがなく、お弁当を買って教室で食べたりします。今日は友人に誘われてセントラルアークまで来て、初めてくいでキッチンを知りました。野菜が多くて美味しいですね。また利用してみたいと思います」。



選べるランチストリート

プリズムハウスそばの通路では、キャンパス近郊の店がお弁当の販売をするランチストリートが昼にオープン。広い敷地を誇るBKCだけに、他のエリアでもお店が出店されており、ランチタイム以外にも、たこ焼きなど学生たちが授業の合間の空腹を満たせる軽食も販売しています。



「人気のメニューはなんですか？」

店長さんに
聞いてみた!

主に学生たちが利用するのは、各キャンパスにある生協が運営する食堂。基本の共通メニューがありつつも、実はキャンパスごとの学生男女比率などに合わせたメニューになっており、各所で工夫がされているのです。そんな中から、定番メニューや隠れた人気メニューなど、学生たちの食事情に詳しい各店長にお話を伺いました。

学生の持ち込み企画も人気



諒友館食堂
藤本店長

衣笠
キャンパス



紅茶プリン 82円

学生のフェアトレード団体beleafとの共同企画メニュー。フェアトレードの紅茶を使ったプリンで、甘さ控えめでふわりと良い香りが漂う。



ササミチーズカツ 257円

中からとろりと出てくるチーズが味のアクセントに。淡白なササミにボリューム感が加わり、たんぱく質もしっかり摂取できる。



セルフバー 1g 1.2円

「いろいろ食べられる」と女子学生に人気のセルフバー。30種類近い惣菜から好きなものを好きなだけ選び、量り売りで清算するシステム。

パワフルメニューで夕食にも対応



ユニオンスクエア
前田店長

びわこ・くさつ
キャンバス



若鶏醤油揚げ 172円

やはりオーダーが多いのは揚げ物。サクサクの衣で、しっかり下味のつけられた揚げ物は白ご飯にもぴったり。食欲をそそる味で人気のメニューです。



オクラの巣ごもり玉子 82円

副食として「よく食べる」と言う学生の声も多く、次々と売れていく。さっぱりポン酢と温泉玉子がマッチする一品。



ラフティー麺 432円

期間限定の九州フェアで登場していたラフティー麺。麺類では約1ヶ月に一度出されるうま辛とんこつラーメンを楽しみにしている学生も多いそう。

週替わりメニューで変化



OIC Cafeteria
森岡店長

大阪いばらき
キャンバス



鶏から南蛮 298円

揚げ物はやはり学生たちに人気。約2週間に一度のペースで登場するメニューで、意外とさっぱり食べられるので女子学生にも好評。



棒棒鷄サラダ 216円

学生たちも野菜不足には気をつけている様子で、味付けもしっかりしている棒棒鷄サラダは食べ応えもあるため隠れた人気メニュー。



塩だれカツ丼 370円

多くの男子学生が食べている丼。週替りメニューで登場していた塩だれカツ丼は夏にも食べやすい味付け。メニューにも季節感が反映されている。

ランチを拝見!

「週替わりのメニューがあるので飽きません。100円朝食もよく利用していて、下宿生の僕にはありがたい」と、下宿生活だからこそ気になる食生活を、食堂メニューで管理しているそう。今日の食事は男子学生にはやや少ないと見えますが、「昼ごはんは食べすぎると、午後の授業で眠くなるので、あえてSサイズにしています」と考えて調整しています。



戸根 亮太さん
総合心理学部2回生



レシートで食生活を管理

カロリーだけでなく、バランスよく栄養摂取できているかも分かりやすく表示されています。「気をつけているのは緑」と、野菜不足にならないよう注意している学生が多く見受けられました。

1食の目安	1点=80kcal
男:赤2点 緑1点 黄7点	女:赤2点 緑1点 黄4点以上
赤 2.6点 緑 0.3点 黄 5.1点	
カロリーカロリー 22.7g 222kcal	
野菜量 108g 635kcal	
塩分相当 4.0g	

塩分摂取目安:	女子7g未満 男子8g未満
エネルギー量目安:	女子1950kcal 男子2650kcal
3群点数法目安:	女子20点 男子25点

赤=肉、魚、牛乳など血や骨を作る
緑=野菜、果物、海藻類など体の調子を整える
黄=穀物や油脂など体の中で力や体温になる



学生たちの食を支える大食堂

メインの食堂はC棟にあるカフェテリア。明るく綺麗で、奥へと続く飲食スペースも797席、屋外テラス72席と広々としています。ミールショップ（コンビニ）も併設されており、評判のニシカワパンを楽しむ学生も。さらに、屋外テラス席があるため、グループで食事を楽しみ、トランプなどに興じる学生たちも見受けられました。キャンパスには他にも、*< Camping Kitchen >*などがあります。



学食をテイクアウト

食堂内にあるテイクアウトコーナーはOIC

だけのシステム。ここには温蔵庫があり、丼など温かいメニューをテイクアウトすることができます。「授業準備などの関係でゆっくり並んで食事できない時は、お弁当などを買ってオープンスペースで食べる」という、授業優先で頑張る学生たちのためにもうれしいサービスです。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。



オープンスペースも憩いの場所

OICにはオープンスペースが多数あり、例えば通路も幅広いうえテーブル席なども置かれているので、ランチタイムには食事スペースに早変わり。持参したお弁当やテイクアウトメニューを食べる学生も。食後は授業の準備をしたりと活用されています。



気分を変えてお弁当

カフェテリア前の通路には、ランチタイムになると近郊の店が出店。定番のお弁当はもちろん、アジア料理やケバブサンド、ドーナツなど気分にあわせて食べられます。





先輩が後輩へと伝える 100円朝食の魅力

今やすっかり定着した100円朝食。年間、約16万人（2016年度実績）が利用しており、学生たちの食生活を支えるだけでなく、生活リズム形成にも役立っています。春には新入生に100円朝食の意味を理解してもらうため、オリター（注1）たちが100円朝食に招待するイベントを企画。初めて利用する学生たちは、「下宿生活なので100円はありがたい」などと仲間と共にテーブルを囲んでいました。

（注1）オリター：新入生の学びや学生生活をサポートする上回生の学生団体。



この日はオリターたちがJAおうみ富士がプロデュースする「おいでキッチン」と協力し、カレーを新入生に提供。



理工学部4回生 井本 浩輔さん
情報理工学部4回生 溝口 詩織さん
情報理工学部2回生 吉田 匠輝さん
「実際に100円朝食を食べてもらい、生活リズムを作る大切さを知ってほしい」と企画を行ったオリターの代表メンバーたち。



夏の疲れをいやす 食生活アドバイス

真夏になると食欲が低下し、栄養バランスを崩した食生活になりがち。秋からの生活に疲れを持ち越さないために、アスリート食の専門家でもあるスポーツ健康科学部・海老教授に食事のポイントをうかがいました。

スポーツ健康科学部
海老 久美子教授

エネルギー不足に陥らないために 最近ブームの糖質制限も要注意

疲労回復には栄養素をバランス良く補給することが不可欠です。最近では糖質制限によるダイエットがブームですが、過度な制限は危険です。米や小麦などに含まれる糖質は体内でエネルギーに変換される大切なことで、著しく不足するとパワー不足に陥ります。適度に糖質をとりつつ、エネルギー変換に必要なビタミンB群や、たんぱく質も摂取してください。右記の表を参考に料理のための食材を選べば、より効率よく疲労回復が期待できます。また、真夏を過ぎてもまだ熱中症になる危険性があるため、こまめな水分補給は必須。自分でも簡単に作れるスポーツドリンクで、汗とともに失われるミネラルなどを補給してください。

夏バテ予防のおすすめ食材

	日焼けによるダメージ	内蔵疲労による消化不良	全身の疲れ、だるさ
意識したい栄養素	・抗酸化ビタミン ・ポリフェノール類	・プロバイオティクス ・プレバイオティクス	・糖質 ・ビタミンB1
摂取したい食材	・トマト・ゴーヤ ・パプリカ・バナナ ・緑茶・そば ・アボガド	・ヨーグルト・納豆 ・なれ鮨・キムチ ・大豆・雑穀 ・乾物類	・胚芽入り穀類 ・豚肉・ハム・鶏 ・大豆製品・フナ ・ます・魚卵

簡単レシピで夏を乗り切る！

- ツナトマト素麺
1. 鶏がら顆粒、ごま油(大1)、塩、冷水を混ぜてだしを作る
 2. トマトをざく切りにする
 3. ツナとトマト、ごま油(小1)を和える
 4. 大葉を細く刻む
 5. 茹でたそうめんの上に3を乗せ器に盛り、1のだしをかけて完成。だしを温めてゆうめんにしてもOK

スポーツドリンク

材料(500ml分):水 500 ml、砂糖 20~30g (スティックシュガー(5g)なら4~6本)、食塩 0.5~1g、オレンジ・レモン果汁お好みで。水に材料を全部混ぜるだけ。砂糖は全体の4~6%、食塩は全体の0.1~0.2%の割合になるよう調整。

レシピ作成: 小西 可奈さん
(スポーツ健康科学研究科博士課程後期課程在籍・管理栄養士・公認スポーツ栄養士)



保健センターの 保険診療費補助がスタート

父母教育後援会では<100円朝食>に続き、学生の健康に関わる新たな学生支援事業として、2017年4月から保健センターでの保険診療費の補助を実施しています。この支援により、学生たちは実質負担なしで保険診療を受けることができるようになりました。

学生の健康を守る 保健センター

立命館大学の各キャンパスには、診療所が併設された保健センターが設置されています。診療所には、専任の内科医師3名、精神科医師1名、保健師4名、看護師1名に加え、嘱託医師（内科、精神科）、契約看護師、契約保健師、非常勤X線技師と、私立大学有数の体制で学生の健康のサポートにあたっています。各キャンパス内に設置されているため、学生たちは急に体調が悪くなった場合でも内科を中心とした保険診療が受けられるうえ、必要に応じて近隣の適切な医療機関の紹介も受けることができます。また、毎年、全学生を対象とした定期健康診断を実施し、結果に応じて二次検査・血液検査やその他精密検査を無料で行い、健康問題の早期発見に努めています。



保健センターでの保険診療費の 自己負担分を父母教育後援会が補助

このように立命館大学では、学生の健康を守るため手厚い診療体制が整っています。しかし、学生は体調が悪くなってしまってなかなか受診しなかったり、1回生はほぼ全員が受診している定期健康診断も、2回生以上になると受診率が80%程度に低下する実態があります。

そこで父母教育後援会では学生が健康な生活を送れるよう、保健センターと連携し、<100円朝食>に続く新たな学生支援事業を2017年4月から実施することとした。具体的には、学生が各キャンパスの保健センターに併設された診療所を受診した場合、支払った保険診療費の自己負担分を父母教育後援会が補助します（学外の医療機関での受診および、院外処方箋による薬局での支払いは対象となりません）。この支援は学生自身の健康管理に対する意識を高め、健康問題の早期発見につなげることを目的としていることから、保健センターが実施している直近の健康診断を受診していることを条件としています。



「鍵は微生物。 健康な土と体には 彼らが不可欠です」

知への扉vol.5

生命科学部 久保 幹教授

様々な分野の研究者である教員が在籍する立命館大学は、まさに知の宝庫。ここで学生たちは新たな知識を得て、蓄え、発展させていきます。学生たちが学んでいる各分野の専門知識や、その知識が導き出す未来について、教員の方々に語っていただくシリーズです。

微生物の力で水を浄化するシステムを構築。1年近く水を交換しなくても、水槽の水は汚れることなく透明で、金魚たちが気持ち良さそうに泳いでいる。

KUBO MOTOKI

1983年広島大学工学部卒業、1985年同学大学院工学研究科博士課程前期課程修了、博士号取得。1997年より立命館大学工学部に在籍し、2008年より生命科学部教授に着任し現在に至る。環境バイオテクノロジー学会、日本農芸化学会、日本生命工学会、アメリカ微生物学会、日本生化学会、日本土壤肥料学会に所属。

有機栽培に革命を起こした SOFIXの立役者

みなさんは普段、どんな野菜や果物を購入されているでしょう？ 家族の健康を考え、農薬を使っていない有機栽培の農作物を購入する方も多いのではないでしょうか。しかし有機栽培されたものは割高で、手に入れにくいのが現状。「それをより身近で手頃に入手できるようにして、日本の農作物の自給率を100%にしたい」という自身の夢を形にしたのが、久保教授たちが開発したSOFIX (Soil Fertile Index、土壌肥沃度指標) です。

SOFIXは、農薬や化学肥料に頼らない有機栽培の課題である、害虫や収穫量の不足を解決する切り札として期待されています。これは有機栽培をはじめとする物質循環型農業に、望ましい土壌成分の量とバランスを数値化した新しい技術。「いわば、土の良し悪しを計る物差しのようなもの。農作物の栽培には、良い土壌が不可欠です。今までの農業では土作りを農家の長年の経験に基づいて行ってきましたが、SOFIXで土壌を分析すれば、もっと効率的かつ合理的に行なうことが可能になります。実際に、分析をして土壌を改良した畑では、作物の収穫量がアップし、栄養価のバランスも変化することがデータで実証されています」。例えば、化学肥料とSOFIX有機農法でキャベツを育てたところ、後者の方が収穫量が1.4から1.9倍に増えました。しかも、ほうれん草の栽培においては、SOFIX有機農法で育てたものが硝酸塩濃度が半分に。硝酸塩は摂取量が増えるとガンを誘発する可能性があるといわれており、栽培方法が作物の栄養素にも変化を与えることも分かりました。



久保教授が手にしているのは小松菜。よく見ると向かって左側の方が葉色が薄い。こちらがSOFIXで育てたもので、硝酸塩濃度が右側より低い証拠なのだそう。

土の中も体内も 自然なサイクルは変わらない

実は久保教授は工学博士。土と関係なさそうな分野に思いますが、遺伝子工学の道へ進み、アメリカ留学時に環境微生物の研究と出会ったのがSOFIXの開発に繋がっている。ある時、ベンゼンで汚染された土壌を改良するため、石油分解菌を投入して浄化しようとしたが、分解できることとそうでないところがあったんです。調査の結果、土壌の微生物などのバランスが異なることが原因でした。土の中には多数の微生物が存在し有機物を分解してくれ、そのバランスが最適だと土壌は浄化され肥沃します。

これが自然なサイクルです。みなさんの腸の中にも多数の腸内細菌がいて、食物分解を助けてくれるのと同じ。しかし、土へ化学肥料や殺虫剤などの農薬が投入されるようになり、このサイクルが崩れたのです。除菌や殺菌に熱心な昨今ですが、本当に自然で快適な暮らしとは、微生物との共生にあると久保教授の研究が教えてくれます。



実はBKCのキャンパス内でもSOFIXの技術を生かし、木の成長改善が図られている。桜の木があり花をつけないため、土壌を検証すると写真のようなコンクリートの塊が土壌のpHを乱していることが判明。現在、桜の開花数が順調に増えている。



乾 亭ゼミ



地域のためのまちづくりとは

ゼミ生 voice

池田 桢さん
公務員を目指しており、乾ゼミで学んだ知識を活かして仕事をしたい。

奥居 香奈子さん
地域の方の居場所作りのお手伝いを通して地域の課題を学んでいます。

藏永 晴さん
ゼミでの学びを将来就きたい観光の仕事に繋げたいと考えています。

末村 晃識さん
活動の企画なども行なながらまちづくりへの理解を深めています。

藤浪 来夢さん
将来は地域福祉に関連した企業、団体に就職したいと考えています。

村上 優里花さん
人との関わりを通して地域とは何かを深く考える機会になっています。

後山 直毅さん
実際にあってみて、貴重な経験がでて勉強になっています。

近藤 莉紗さん
いつか自分の住むまちを楽しく盛り上げていきたいと考えています。

堤 朝来さん
人生に人ととの関わりは大切だと思いこのゼミを選択しました。

石丸 千夏さん
まちづくりやフィールドワークに興味があり乾ゼミを志望しました。

奥村 ゆりさん
住民主体で行われる地域福祉とまちづくりの関連性を学んでいます。

小林 優斗さん
フィールドワークを通して学ぶため乾ゼミを志望しました。

塙本 希夢さん
地域の人と直接触れることで座学ではない学びが得られます。

前田 大輔さん
地域内の繋がりが希薄と言われる現代のまちづくりに興味があります。

森本 佳乃子さん
フィールドワークを通してまちづくりを学び地域の人と関わっています。

井上 裕太さん
地域の人たちの考えを理解することが出来るのが楽しいです。

近藤 僚亮さん
人が賑わう場所を創りたいと思い、このゼミに入りました。

野瀬 未那子さん
地域に住んでいないからこそ学ぶことも多く興味深いです。

上田 瑞紀さん
将来は子どもたちの「?」をたくさん引き出せる教師になりたいです。

加美 菜さん
将来は地域活性事業にも取り組む企業に就職したいと考えています。

斎藤 光さん
まちづくりについて考えながら将来は県知事を目指しています。

畠中 友紀さん
人のつながりの大切さ、世代間交流について学んでいます。

松浦 由一さん
都市計画や交通政策について興味があり、まちづくりについて学びたいです。

八木 佑理加さん
将来は故郷の静岡をより住みやすいまちにすることに貢献していきたいです。

大井 麻由さん
大学生の間でしか経験出来ないことをしたくて乾ゼミを志望しました。

齊藤 悠風人さん
公務員志望でまちづくりを研究できるこの乾ゼミに入りました。

野村 萌々子さん
自分の目で見て歩いて確かめるフィールドワークは自分に向いています。

梅村 大知さん
大学のその他の講義では学べないことを学べると思いました。

喜多 修平さん
ボランティアを通してまちづくり面白さに気付き、乾ゼミに入りました。

清水 智之朗さん
将来は中学校の社会科の先生として教壇に立ちたいと思っています。

菱田 雅文さん
実際にまちの自治団体に属し、まちの方の声を聞き学ぶのが楽しいです。

宮崎 一旗さん
大学内の人だけでなく様々な人と関わりたいと思いこのゼミに入りました。

弓立 竜輔さん
教員になり学んだ知識を将来に活かせるようにしていきたいです。

河野 宏彰さん
実際に神戸の地域に入ってリアルなまちづくりについて学んでいます。

新徳 翔太さん
地域コミュニティがなぜ重要なのか活動を通じ学んでいます。

(3回生、4回生が所属。順不同)

まちづくりの基本は人を知ることから

建築学を学び一級建築士の資格も持つ乾教授ですが、工学部ではなく産業社会学部の所属。「確かにちょっと不思議に思いますよね。学生時代から格好良いデザインの建築物を作りたいという欲求はありません、「まちづくり」に興味があったんです。そのための道具として建築を学びました」と言う乾教授。研究テーマは住み手参加のまちづくりや、地域コミュニティの再生について。建物など物を先に考えるのではなく、既にある一つの町の中で、人を中心にしたまちづくりについて考察しています。「学生たちが学んでいるのは、人と人、人とまちとの関係。そこが産業社会学部ならではと言えます」。そのため人々の抱える問題を学生たちが体感できるよう、ゼミでは4チームに分かれ京都や神戸の4つの学区の地域活動に参加。実際に町内会議や行事に加わり、イベント企画などを地域の人と一緒に考え、運営を手伝うなどの課外活動を通じて学びを深めています。「この中で大切なのは、地域がどんな状況なのか、地域の人々にとって何が大切なのかを知ること。住民の高齢化による問題や、子育て世代の支援など、地域が抱える悩みは各所異なります。だからこそ、地域にとびこみ地域の人と一緒に考える必要があるのです」。



乾 亨 いねい こう
産業社会学部 教授

1977年京都大学工学部建築学科卒業後、同大学院工学研科建築学専攻、修士課程修了。設計業務に携わりながら1994年熊本大学大学院自然コミュニティ政策学会科学研究所環境科学、博士課程修了。都市住宅学会、日本建築学会などに所属。環境生成への生活者の主体的関わり方と専門家の役割について研究。



この日はゼミを志望する2回生の見学者も参加しており、総勢40名近く集まった定例の報告会。学生たちのほとんどが乾ゼミを志望するにあたり、座学だけでなくフィールドワークによってより実質的な学びに触れられることを挙げてあり、意欲的に活動に参加している。



地域での活動の様子や成果。





ゼミナール訪問 vol.38

びわこ・くさつキャンパス
理工学部

小川 圭一ゼミ



人の周りに必ず発生する交通問題を解決

ゼミ生 voice

石田 信之さん

私は自転車交通に関する研究をしています。交通事故の減少へ繋がればと思い、先生方や研究室のメンバーと共に日々研究を行っています。

鎌苅 将太さん

生活で必要不可欠となっている自動車や自転車などの交通について学ぶことができるのでとても楽しいです。

中川 貴史さん

先生や先輩との距離も近く、気軽に相談しながら、楽しく研究を頑張っています。

家城 燐吾さん

自動車交通や鉄道などの公共交通の研究を行えるため、そういった分野に興味がある自分にとって楽しい研究室です。

河野 大喜さん

得意科目の地理と数学を活かし、世の中の役に立つ研究をしたくて、この研究室を志望しました。

中村 麻里さん

小川先生の講義を受けて交通についてすごく興味が湧き、またお人柄にも惹かれ都市交通研究室を選びました。

伊藤 美早子さん

交通の分野に興味があったので、志望しました。卒業研究を通して、少しでも多くのことを学び、専門的な知識を身に付けたいです。

進村 和也さん

交通に関する幅広い分野の研究が出来ることに魅力を感じました。教授や先輩も温かく指導してくれます。

時代とともに変化しつつ 生活と密接する研究対象

小川教授たちが研究しているのは、道路交通を中心とした都市の交通について。人々の動きや、道路上での自転車や自動車の動きなど、都市内の交通をスムーズにするにはこうした研究が不可欠です。「私は最初は町に興味があったんですが、町には道路が必要ですよね。そして人は必ず普段の生活の中で移動します。そこから興味が湧いて交通分野の道へと進みました。交通行動はだれもが日常的に行っています。身近な生活の中の行動を対象にした分野ですので、日常生活のいろいろなところに研究の対象があるはずです」。小川教授の学生時代は土木工学に属した研究分野でしたが、現在では心理学や経済学の見地からも人の交通行動を分析されており、ゼミではそうした多岐にわたる分野の分析も考慮しながら研究が行われています。「最初は急激な車社会への移行にあたり、いかに事故を減らすかに焦点が置かれていましたが、現在では自転車や高齢者の事故が多発しており、そうした問題を解消するための研究も行われています。人の生活が変化すると、研究も変化するのです」。



小川 圭一 おがわ けいいち
理工学部 都市システム工学科 教授

1993年東京工業大学工学部卒業、1998年同大学院博士課程修了。土木学会、世界交通学会などに所属。岐阜大学で教鞭をとった後、本学に着任。都市の交通計画や交通運営管理について研究を行う。また「文化遺産防災学「ことはじめ」篇」などの共著もあり、文化遺産防災問題についても取り組んでいる。

<http://www.ritsumei.ac.jp/se/rv/ogawa/index.html>



町に出てみると、いろいろな道路事情があることが分かる。車や人の流れを見るために、高台を探してデータを収集することも。

交通問題の分析は 町を知り人を知ることから



バーチャルリアリティを活用し、運転するドライバーの運転挙動について分析する学生たち。取材時のゼミでは、このようにして収集した情報をまとめた発表などが行われていた。

交通渋滞や交通事故などを減少させるためには、都市の中で移動する人の行動や、車を運転する人の運転行動を分析して、適切な交通管理方策や交通安全対策を考える必要があります。例えば、交差点で発生する事故は本来、信号制御されているため発生しないはずですが、実際には事故が起こってしまいます。原因は自動車を運転するドライバーの運転行動に問題があるためです。そこで交差点における自動車の動きを観察して、交差点の危険性を探します。このような分析のためには、人の行動についても分析が必要であり、学生たちはバーチャルリアリティによって実験したり、実際に町に出て交通に関するデータを収集しています。また、交通に関する問題は車以外にも電車や自転車など多岐にわたります。取材当日のゼミでは、学生が高槻駅を例にホームに設置された転落事故防止のための安全柵について検証しており、この分野の研究が私たちの生活に身近なものだと分かります。こうした研究知識を生かし、行政機関のまちづくりの仕事に従事する卒業生も多いそう。このような研究の成果によって、私たちの生活環境が改善されているのです。



部活動&サークル Watching

vol.
11

体育会サッカー部



多くのJリーガーが巣立った歴史ある部

サッカー部の歴史は古く、部員も約170名を誇ります。全国で活躍するJリーガーも多く、海外チームに在籍する出身者も。後輩である清水さんたちも、昨年は10年ぶりに総理大臣杯の出場権を獲得するなど健闘しており、「ここ数年は実力がついてきたと思います。全国優勝を目指し頑張っていて、僕も先輩たちのようなプロを目指しています」。



清水 航輔さん

主将
産業社会学部 4回生

美術研究部



平面から立体まで表現

部室とアトリエで製作活動に励む約50名の部員の中には、未経験者も多いそう。「興味はあるけれど初心者という人も多く、部員のレベルも様々。製作している作品も、絵画だけでなく立体物もあり、基本的に自由な創作活動ができます」と高岸さん。展覧会に出品するほか、学園祭でも似顔絵ブースを出店し、来校した人々に好評でした。



高岸 葉子さん

部長
法學部 3回生

昨年は衣笠キャンパスの中央広場で展覧会を開催するなど、新たな活動も。京都八大学合同展覧会も、毎年部員たちが楽しみにしているイベントの一つ。

立命館大学には多くのクラブやサークルがあり、優秀な成績を収めている学生たちが多く、日々切磋琢磨しています。そうした学生たちの今の目標や希望を、代表者が語ってくれました。

飛行機研究会



ものづくりが好きな部員が多い。一機の制作にはかなりの費用がかかるそうだが、保管場所がないため、残念ながら飛行を終えた機体は解体するそう。



中島 忠宏さん

部長
理工学部 3回生

実際に空を飛んだ機体が、BKCの学園祭で展示されますので、ぜひ見に来てください。

自作の飛行機が空を飛ぶ醍醐味

読売テレビ主催の「鳥人間コンテスト」に憧れて入部した中島さんのような約50名の部員が一丸となって人力飛行機を制作し、長距離飛行を目指す夢のある団体。しかし、動力は人間のペダルを漕ぐ力のみなので、パイロットはハードなトレーニングが必要とされ、機体制作にも約8ヶ月間もの時間を要します。その後、岡山方面の飛行場や学内のグラウンドで飛行テストを重ね、今年は8月に記念フライトを行いました。

バトントワリング部



第41回全日本バトントワリング選手権大会の種目別グランドチャンピオンを勝ち取るなど、立命館大学のバトントワリング部のメンバーは全員で切磋琢磨している。初心者は、まずはバトンを回すところから練習するそう。



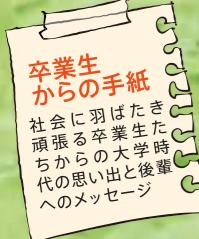
山本 紗弓さん

部長
産業社会学部 3回生

いろいろな大会が行われていて、一般の方も観覧できる大会もあります。機会があればぜひ見てみてください。
日本バトン協会
<http://jbta.p-kit.com>

世界を牽引し注目されるメンバーたち

バトントワリングの世界において、実は日本の選手たちはトップクラス。山本さんも世界大会に出場し、優勝経験もある注目の選手です。新体操とは違い、床の上で演技しながらバトンを操る競技は、実際は見た目よりもハードで、さらに正確さや繊細さが要求されるそう。「でもまだまだマイナーな競技。もっと多くの人に知ってもらいたいので、昨年からは初心者の募集を開始しています。私たちも指導を頑張っています」。



「挫折して、遠回りもしたけれど、無駄なものは何もありませんでした」



Voice

私はちょっと変わった経歴でアナウンサーになりました。高校時代にアナウンサーを目指してから、言葉の表現などを学べるプログラムがあった立命館大学の文学部を選択し、授業はもちろん、大学ミスコンや京都学生祭典などイベントの司会にもチャレンジしました。情報をしっかりと伝えられるアナウンサーを目指して、それまで培ったく自分の声で伝える技術を武器に就職活動に挑みました。しかし、現実は厳しく、アナウンサー試験は全滅でした。自分には向いていなかったのだと、自信を失いました。幸いご縁があった東京の派遣会社に就職し、想像もしていなかった営業職になりました。ある日、朝礼の司会をすると、「良い声だ、とても聞きやすい」と褒められて、ふとまた昔の気持ちが蘇りました。休日に、声で表現する活動ができないか探してみようと思い始めたときでした。忘れもしない12月26日に突然電話が掛かってきたのです。学生のときに受講したマスコミ講座を開催する会社の社長から、青森の放送局にアナウンサーの欠員が出たので受けてみないかというお誘いでました。当時の研修のビデオで、私のニュースを読む姿を見て電話をくださったのです。学生時代の経験は無駄ではなかったのだと思いました。就職試験のときは、現役の時の自分よりも自信を持って臨むことができました。派遣会社で飛び込み営業1日150件以上をこなして度胸がつき、青森を一度離れたからこそ地元の魅力に気づき、それをアピールできたからです。少し遠回りでしたが、私には全て必要な道だったのだと思います。後輩の皆さん、学生時代にやってみたいことは思い切り挑戦してください。無駄になるかもとためらわず、選んだことをやり切ればきっと何かに繋がり、そしていつか自分に返ってきます。今の目標は、応援してくださった人への恩返しとして、青森の魅力を自分の声で全国に伝えることです。

二通目

稻葉 千秋さん inaba chiaki

青森朝日放送株式会社 報道制作局報道制作部 アナウンサー
ニュースキャスターだけでなく、<ハッピイン>などのバラエティ番組も担当。

<http://www.aba-net.com>

2015年3月文学部卒業 青森県

チャンスは努力の先にある
痛感した積み重ねの大切さ

舞台俳優を夢見ていたけれど、高校生時代に放送部に所属してからはアナウンサー志望へ。将来を見据えて大学選びも行いましたが、就職活動ではその努力が無駄に思えるような挫折を味わい、一度は希望を見失って夢を諦めた稻葉さん。それでも新たな目標を持って人生を歩もうと前を向いたとき再びチャンスに恵まれ、現在夢の職場で活躍しています。



秋のオープンカレッジ 学園祭ご招待

Beyond Borders 恐れるな、踏み出せ。

今年も学生たちが学園祭開催に向けて奮闘中。今年は3キャンパスに分かれ開催されます。

学園祭は学生たちの日頃の取り組みを発表する場でもあります。保護者の方々が大学と学生生活に触れる機会もあります。ぜひ、キャンパスへお越しください。

- OIC** 10/15(日) 12:00~18:00 (予定)
- BKC** 11/26(日) 10:00~19:00 (予定)
- 衣笠** 12/ 3(日) 10:30~18:30 (予定)



【引き換える時間】
同封の引換券を参照
500円分ご利用いただけます

学園祭案内ツアーも好評



模擬店で利用できる
チケットをプレゼント

同封の【模擬店チケット引換券】をご持参の上、祭典本部へ引き換える時間内にお越しください。学園祭の飲食模擬店でご利用いただける【学生飲食模擬店用チケット(500円分)】をお渡しします。

- ・学園祭招待券は再発行いたしません。
- ・チケット利用時にお釣りは出ません。
換金もできません。
- ・雨天・荒天などで模擬店が中止になった場合は、チケット引き換えを行えない場合があります。

学生による学園祭案内ツアーを今年も開催予定。ツアー参加ご希望の方は、事前申し込みをお願いします。

申し込みには、本誌【父母教育後援会だより夏号】送付時の封筒(宛名ラベル)に記載されている【会員番号】が必要です。

【受付】9月19日(火) 10時開始 (予定)

父母教育後援会WEBサイトに受付フォームを設置します。

<http://www.ritsumei-fubo.com>

定員になり次第、受付終了

※上記は変更になる可能性があります。詳細は父母教育後援会のホームページでご確認ください <http://www.ritsumei-fubo.com>
※当日の様子を写真撮影し、会報やホームページに掲載することがあります。



歴代天皇の悩みは 水不足と洪水

桓武天皇が平安京遷都にあたって取り入れたといわれているのが、風水学的に最高の吉相といわれる地相、<四神相応>。天の四神の方角を地上に相応させた最良の地とされ、東=流水（青龍）、西=大道（白虎）、南=くぼ地（朱雀）、北=丘陵（玄武）のある場所をさします。諸説ありますが、平安京はそれにならい、青龍=鴨川、白虎=山陰道、朱雀=巨椋池、玄武=船岡山として造営されたといわれています。

中でも水をもたらす鴨川は人々の生活に欠かせない存在でしたが、実は古くから治水対策がされていたにもかかわらず幾度となく氾濫した暴れ川もあり、白河法皇が「天下三不如意」の一つとして嘆いたほど。しかも歴代の天皇たちは洪水による川の氾濫だけでなく、時として水不足にも悩まされました。そんな時はやはり、神頼み。多くの天皇が勅使を遣わし、雨乞い・雨止みの御祈願を行ったのが貴船神社で、都の北側に位置し水を司る神が祀られています。そしてこの祈願の際に奉納されたのが馬。雨乞祈願には黒馬を、止雨祈願には白馬または赤馬を献じたそうで、それがやがて生馬ではなく板に馬を描いて奉納されるようになったのが、これが絵馬の原型になったといわれています。

京都水紀行② 都恵みを見守る水神

水を司る神は平安時代の人々の話です。今日は自然の力で平安時代のお話を天皇たちとします。今日は平時に人々は逆らえません。

数多くの伝説が残る 龍神のいる古社

貴船神社があるエリアは平安時代の貴族たちにとって避暑地でもあり、山深く真夏でも街中よりひんやりと涼しさを感じる場所。鴨川の源流にあたる清らかな貴船川が流れおり、夏には鴨川と同じく川床がしつらえられ、多くの人が賑わいます。

貴船神社の歴史は古く、約1300年前には御神殿造替が行われたと社伝があることから、それ以前に創建されたと思われます。本宮の御祭神である高龕神（たかおかみのかみ）が水を司る神といわれ、さらに上流側にある奥宮はかつての本宮で、閻龕神（くらおかみのかみ）を御祭神としていますが、これは高龕神と同じ神だとされています。水の神は単に雨を降らせるだけでなく、止雨を司る龍神であり、水の供給を司る神なのです。本宮社殿には貴船山からの湧き水が枯れることなく溢れ出ており、御神水として自由に汲むことができます。ちなみに、貴船は一般的にはくきぶね>と呼ばれていますが、界隈では濁点を付けずにくきぶね>と呼ぶことからも、人々がいかにこの濁りのない清らかな水を大切にしてきたかが表れています。

貴船神社
京都市左京区鞍馬貴船町180 <http://kifunejinja.jp>

*父母教育後援会HPにも、京都の四季に関するコラムを掲載していますのでぜひご覧ください。<http://www.ritsumei-fubo.com>

父母教育後援会総会、春の委員懇談会が開催されました

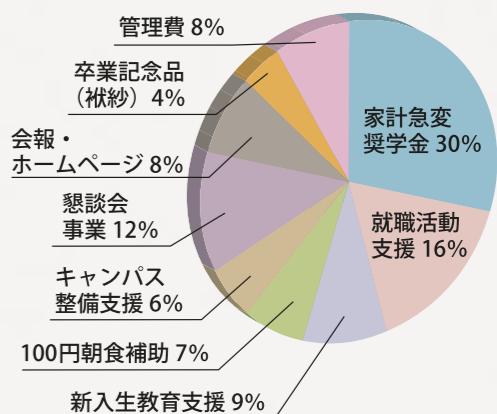


立命館大学
父母教育後援会会長
鈴木 順也
日本写真印刷株式会社
代表取締役社長

快晴に恵まれた5月20日（土）、父母教育後援会総会、春の委員懇談会が立命館大学朱雀キャンパスで開催されました。総会では、2017年度の役員体制が承認され、第九代会長に、鈴木順也氏が就任されました。その後、2016年度の決算報告および2017年度の予算計画が承認され、学生支援に取り組んでいくことが確認されました。

会費の68%を学生支援事業に活用

父母教育後援会の事業の中でも、重点を置いて取り組んでいるのが学生支援事業であり、会員の皆様からお預かりした会費の68%が活用されています。学生の健康を守る取り組みとして実施し、2015年度には厚生労働大臣賞を受賞した100円朝食や、保護者に万が一のことがあった場合も、卒業までの学費が給付される家計急変奨学金などに加え、2017年度からは、新たな学生支援事業を決定。学生たちが健やかな学生生活を送るように、各キャンパスに設置されている保健センターを受診した際、自己負担した保険診療費を父母教育後援会が補助する取り組みが承認されました。



皆様のお声が誌面作りに役立っています

父母教育後援会だよりは年3回お送りしており、毎号アンケートにご協力いただいています。2017年度春号でいただいたご意見を紹介します。



【皆さまからのお声】

「卒業生からの手紙」を読み、自分自身も大学一回生の頃父を病気で亡くしたため、とても他人事とは思えませんでした。体験を通して学んだことを生かし、その時助けてもらった恩を誰か困っている人に返すことが大切だと思います。（滋賀、文2回生、女）

立命館大学の国際化がよく分かりました。立命館大学から世界へ大きく羽ばたいてほしいです。（大阪、文4回生、女）

AEDが守った学生の命に感銘しました。自分の信じた行動をした彼女に拍手です。（大阪、法4回生、男）

保健センターでの保険診療費を補助されることを子どもに伝えました。一人暮らしで心配なのは健康の事。調子が悪いなら我慢せず診療を受けてほしいです。（愛知、産社2回生、女）

サークルやゼミの記事を見て、大学での生活の一片が覗けたようです。（兵庫、産社1回生、男）

白川フォントの無料公開は素晴らしい企画だと思います。（岡山、生命3回生、女）

「錯視」の話は、とても楽しく読ませていただきました。またCDジャケットにも使用される事もあると知って、いろいろなところで生かされているんだなと思いました。見て楽しかったです。（愛知、産社3回生、男）

女子陸上部の活躍はTVで見て一緒に応援していました。女王の座を奪還する事ができて本当に良かったです。来年もがんばってください。（香川、経済、男）

◀◀◀◀ たくさんのご意見、ありがとうございました。▶▶▶▶